公安委員会 決裁資料	公安委員会が道路における危険を防止するため必要と認める道路の認定について	令和7年2月19日 生活安全企画課
<p>1 公安委員会が道路における危険を防止するために必要と認める道路（認定路線） 警備業法第18条及び警備員等の検定等に関する規則第2条に基づく、交通誘導警備業務を行う場合、検定に合格した警備員を配置しなければならないと規定されている道路（以下「認定路線」という。）。</p> <p>2 現行認定路線（別添資料1参照） 令和2年1月7日に公安委員会告示（同年7月1日施行）した26路線</p> <p>3 認定路線の見直し 「警備員等の検定等に関する規則第2条の表の6の項の上欄の交通誘導警備業務に係る都道府県公安委員会の認定の見直しについて（通達）」（令和2年4月1日警察庁丁生企発第247号）により、5年を限度として見直し周期を設定し、認定路線に変更がある場合は新たな告示を行うとされているため、5年目となる令和6年に、県内の国道及び県道について認定基準による見直しを実施。</p> <p>4 認定基準 「警備員等の検定等に関する規則第2条の表の6の項の上欄の都道府県公安委員会の認定について（通達）」（令和6年3月12日警察庁丙生企発第115号）に基づき、本県の認定基準（下記の(1)から(3)のいずれかの条件を満たす路線）を設定。</p> <p>(1) 過去5年間（H31・R元からR5までの5年間）において、人身事故に対する死亡事故件数の構成率（致死率）が<u>1.30%以上の路線【基準A】</u></p> <p>(2) 致死率が<u>1.30%に満たない路線のうち</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の人身事故発生件数が、県下全路線における過去5年間の平均値である115件以上の路線【基準B】 ○ 1日の交通量が、県下全路線における過去5年間である平均値7,485台以上の路線【基準B】 <p>(3) (1)、(2)以外で、当該路線が、周辺的生活や各種運輸において、重要な通行経路で、県内における重要な幹線道路の一つであるなど、特に危険に配慮すべき状況にある路線【基準C】</p> <p>5 認定路線の見直しの結果（別添資料2参照） 基準Aから基準Cの合計26路線（国道13、県道13）が該当し、全て前回と同一の認定路線のため、公安委員会告示は行わない。</p>		